

平成28年（2016年）

釧路広域連合議会会議録

平成28年2月18日開会
平成28年2月18日閉会

2月定例会

第1回2月定例会

釧路広域連合議会

平成28年第1回2月定例会

釧路広域連合議会会議録 索引

会期 自平成28年2月18日 至平成28年2月18日 1日間

2月18日（木）第1日

議事日程	1
会議に付した案件	1
出席議員(17人)	1
本会議場に出席した者	1
議会事務局職員	1
開会宣告(午後2時00分開会)	1
会議録署名議員の指名(佐々木洋平議員、鶴間秀典議員)	1
諸般の報告	
日程第1 会期決定の件	2
広域連合長の発言	2
日程第2 議案第1号上程	2
提案説明	
名塚事務管理者	2
質疑・一般質問	
工藤正志君	3
蝦名広域連合長	3
佐藤昭平君	3
蝦名広域連合長	5
議案第1号討論省略	6
表決	
・議案第1号表決(可決)	6
閉会宣告(午後2時36分)	6
署名	7
付録	
2月定例会議決結果表	8
質疑・一般質問発言項目一覧表	9
議席表	10
2月定例会議事経過	11

平成28年第1回2月定例会

釧路広域連合議会会議録 第1日

平成28年2月18日（木曜日）

議事日程

- 午後2時00分開議
日程第1 会期決定の件
日程第2 議案第1号上程

会議に付した案件

- 1 開会宣言
1 会議録署名議員の指名
1 諸般の報告
1 日程第1
1 広域連合長の発言
1 日程第2

出席議員（17人）

議長	17番	月田光明君
副議長	8番	佐藤昭平君
	1番	東隆行君
	2番	佐藤吉人君
	3番	小川義雄君
	4番	山田博君
	5番	立石巧君
	6番	中村仁志君
	7番	佐々木洋平君
	9番	伊東尚悟君
	10番	戸田悟君
	11番	河合初恵君
	12番	森豊君
	13番	工藤正志君
	14番	鶴間秀典君
	15番	岡田遼君
	16番	宮田団君

本会議場に出席した者

広域連合長	蝦名大也君
副広域連合長	佐藤廣高君
副広域連合長	大石正行君
副広域連合長	棚野孝夫君
副広域連合長	徳永哲雄君

事務管理者	名塚昭君
監査委員	中井康晴君
事務局長	坂卓哉君

議会事務局職員

議会事務局長	森利文君
議会事務局次長	松田富雄君
議事課長補佐	高嶋晃治君
議事課専門員	長山勝君

午後2時00分

開会宣告

- 議長月田光明君 皆さんご苦労さまです。
出席議員が定足数に達しておりますので、平成28年
第1回釧路広域連合議会2月定例会は、成立いたしました。
よって、これより開会いたします。直ちに会議を開
きます。

会議録署名議員の指名

- 議長月田光明君 会議録署名議員の指名を行います。
今定例会の会議録署名議員は、会議規則第96条の規
定により、
7番 佐々木洋平議員
14番 鶴間秀典議員
を指名いたします。
事務局長に諸般の報告をさせます。

諸般の報告

- 議会事務局長森利文君 報告をいたします。
ただいまの出席議員は、17人であります。
今議会に連合長から提出された議案は、議案第1号
であります。
次に監査委員から、地方自治法第199条第9項の規
定に基づき、監査報告書の提出がありました。
また、同法第235条の2、第3項の規定に基づき、
例月現金出納検査報告書の提出がありました。

次に、本日の議事日程は、日程第1、会期決定の件、日程第2、議案第1号であります。

以上で報告を終わります。

日程第1 会期決定の件

○議長月田光明君 日程第1、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今会期は、本日1日間といたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長月田光明君 ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決しました。

○議長月田光明君 この際、連合長から発言を求められておりますので、これを許します。

連合長。

広域連合長の発言

○広域連合長蝦名大也君(登壇) 発言のお許しをいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、時節柄なにかとご多用の折、本日ここにお集まりいただき、平成28年第1回釧路広域連合議会2月定例会を開催できましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

広域連合清掃工場は平成18年4月の供用開始から、来年度11年目を迎えるところでございます。この間、構成市町村の円滑な連絡調整のもと、安定した運営体制が確立され、地域の環境施策の一翼を担う施設として順調に稼働を続けてまいったところでございます。

ここで平成27年度における、これまでの処理状況につきまして、ご報告をさせていただきます。

構成市町村からの搬入ごみ量につきましては、昨年同期と比べまして90トン、率にして、0.2%ほど減少をしております。また、ごみの焼却量も398トン、率にして0.8%ほど減少しております。しかし、2つの炉を計画的に運用することによりまして、効率的に燃焼処理を行なっているところであります。

次に本施設の特徴である、資源循環の取組み状況についてでございます。

廃熱を利用した廃棄物発電では、工場で使用する電力のほとんどをまかなった上で、余剰電力の売電により、1億3,700万円ほどの収入をあげております。

また、資源物である鉄やアルミなどの再利用につきましては、搬出量の減少に伴い、昨年同期より若干少ない、540万円あまりの収入となっております。経過等につきましては、以上でございます。

この後、議案といたしまして、平成28年度一般会計予算についてご審議をいただくことになっておりますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

最後に当広域連合の業務執行に当たりましては、引き続き安全で安定した稼働を基本といたしまして、構成市町村の負担金の抑制に繋がりますよう、尚一層の効率的で経済的な運営に心掛け、最善の努力をしております。今後とも議員各位並びに関係住民、各町村長の皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

日程第2 議案第1号上程

○議長月田光明君 日程第2、議案第1号を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

名塚事務管理者。

提案説明

○事務管理者名塚 昭君(登壇) ただいま議題に供されました、議案第1号につきまして、提案の理由をご説明申し上げます。

議案第1号、平成28年度釧路広域連合一般会計予算についてご説明申し上げます。

清掃工場の本格稼働から、11年次目に当たります、平成28年度の釧路広域連合一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ前年度対比1億819万3千円減の12億6,574万8千円となっております。まず、歳出の主な内容につきましてご説明申し上げます。

第1款、議会費につきましては、前年度と同額の72万6千円を計上いたしました。

第2款、総務費につきましては、前年度対比1,014万2千円増の4,385万6千円を計上いたしました。

次に第3款、衛生費であります。前年度対比1億1,825万3千円減の8億8,236万7千円を計上いたしました。その主な内容は委託料における清掃工場運営維持管業務委託費によるものです。

第4款、公債費につきましては、一般廃棄物処理事業債などの起債償還に伴い、3億3,849万9千円を計上いたしました。

第5款、予備費につきましては、前年度同額の30万円を計上いたしました。

次に、歳入の主な内容につきまして、ご説明申し上げます。

第1款、負担金につきましては、広域連合構成市町村からの負担金で、前年度対比6,373万9千円減の9億6,109万5千円を計上いたしました。

第2款、使用料及び手数料についてであります。使用料につきましては、行政財産の目的外使用料として、1万2千円を計上、また、手数料につきましては、可燃ごみの直接搬入及び小動物搬入に係るごみ焼却手数料、1億8,696万円を計上しております。使用料及び手数料を合わせまして、前年度対比352万6千円減の1億8,697万2千円を計上いたしました。

第3款、繰越金につきましては、前年度と同額となっております。

第4款、諸収入につきましては、売電収入及び資源物売払い収入などで、前年度対比4,092万8千円減の1億1,768万円を計上しております。

以上をもちまして、平成28年度釧路広域連合一般会計予算の説明を終わります。

よろしくご審議の上、原案どおりご承認くださいますようお願い申し上げます。

質疑・一般質問

○議長月田光明君 これより質疑並びに一般質問を行います。

13番工藤正志議員の発言を許します。

13番工藤正志議員。

○13番工藤正志君（登壇） それでは、発言通告に基づきまして、質問をさせていただきます。

先日の議員説明会のごみ処理基本計画の中間見直しについての資料を見ますと、可燃ごみの搬入量は平成26年度の計画値57,368トンから実績は可燃ごみの搬入量が計画よりも1割増えて、5,140トン以上も増えております。私はまだまだごみの排出抑制、減量化には至っておらず、もっとごみの減量化を進めていくべきでないか、という思いであります。今回は他都市の取り組みを含めて質問をしたいと思っております。

兵庫県加古川市において、ここは人口が約27万人の比較的釧路広域連合の人口21万6千人に近い町ですが、2021年度末までに可燃ごみの処理量2割削減するために、生ごみの水切り器を希望する市民に無料で配布しております。これがその水切り器です。他にも様々な形の生ごみ水切り器がございますが、この形のものは札幌市で産学官共同研究により、開発をして私的財産権も申請中とのこととです。

使い方は、この中に生ごみを入れて、上部をしっかり両手で掴み、そうすると少し力を入れるだけで、ここから水が絞り出て生ごみの水切りが出来るという非常に単純なものでありますが、そういった商品になっております。

生ごみの約70%が水分であるといわれていることから、生ごみを水切り器で絞って可燃ごみを減量してもらうためのものであり、加古川市の市民センターや公民館など市内17箇所希望する市民に無料配布をしているということです。住民の立場から考えますと、水切りをすることによって、可燃ごみを減らすことが出来ます。釧路市で言うと、あの黄色いごみ袋である可燃ごみ用のごみ袋の使用量が減り、経済的な家庭の負担が少なくなります。広域連合の側からすると、可燃ごみの水分量が減ることにより、ごみ燃焼時の発熱量の上昇や助燃材の削減にも繋がり経費の節減になります。そして、広域連合全体の可燃ごみ量の削減に繋が

ります。経費が削減された分での生ごみ水切り器を購入し、住民へ無料配布することと、広域連合の各市町村にこの情報提供を行なってはどうかと思いたすが、いかがでしょうか。

釧路広域連合として、生ごみ水切り器の普及が進んでいけば、可燃ごみの削減も考えられます。しかし、現状から見て、ごみの分別や減量が後回しにされて、いかに施設を効率的に動かすか、すなわち、ごみをいかに集め、大量にごみを燃焼し続けることが前提となっており、ガス化溶融炉の問題やダイオキシンによる健康問題など私たち日本共産党市議団が指摘していることが解決される予算にはなっておりせん。広域連合で働く職員の方々は日々大変な努力をされていることとは思いますが、平成28年度一般会計予算につきましては私からは反対の意思を表明いたしまして、質問を終わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長月田光明君 理事者の答弁を求めます。連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 釧路市 工藤正志議員の一般質問にお答えをいたします。

生ごみ、水切り器についてのご質問でございます。

議員ご承知のとおり、ごみ減量化の取組みは、各構成市町村で行うということが基本でございます。ご質問のとおり、ごみの水分を減らすために、生ごみの水切りを行なうことは、発熱量の改善に極めて有効であり、構成市町村の負担軽減に資するものでございます。当連合といたしましても、これまで構成市町村に対して減量化に向けて協力を要請すると共に、搬入ごみの現状やごみ質、組成分析の結果などについて情報提供を行なってまいったところでございます。今後ともごみの現状について、構成市町村と情報の共有をはかりながら、ごみの減量化を要請してまいりたいと、このように考えております。

私からは以上であります。

○議長月田光明君 次に、8番佐藤昭平議員の発言を許します。

8番佐藤昭平議員。

○8番佐藤昭平議員君（登壇） 8番佐藤であります。この度ごみ処理基本計画の中間見直しということで、資料もいただきまして、その中に4点、中間見直しの基本方針ということで提起されておりますので、その点に沿って質問させていただきたいと思っております。

1点目に3Rの推進をあげております。焼却処理を釧路広域連合として清掃工場で行なっているわけでありまして、それとの関係について見解を聞きたいと思っております。

いわゆるリデュースは物を大切に使うことでごみを減らすこと、リユースは使える物は繰り返し使う。3つ目

のリサイクルの関係はごみを資源化して、再び利用するというようなことで言われております。この点では釧路広域連合のところでのこの間の取組み、見直しということで掲げておられますので、その点についての今後の取組みについてお聞きをしたいと思います。3Rの推進としては、あくまでも手元分別の徹底をはじめとした取組みで、ごみの減量化を推進をする、このような取組みこそが3Rの推進というふうには私は考えておりますけれども、連合長の見解をお聞きをしたいと思います。

2点目ですが、環境負荷の低減をあげられております。はたしてこれについては、現状の把握がまずどのようになっているのか。また、それに対する具体策がどのように進められているのか。私この間、清掃工場の見学をさせていただきましたが、いわゆる環境の面では、溶融スラグの管理について、この点についてご質問していきたいと思っております。この間の議会の資料や答弁の中で焼却処理については、排出基準をクリアしているとしても、周辺の環境や住民にどれだけ影響を及ぼしているのか、この点については残念ながら把握をされておられません。私の見させていただいた資料ではそのように認識をしております。環境負荷の低減としては、どのようなごみがどれだけ、どのように燃やされているのか、明らかにされなければならないと思っております。その具現化として私、一つ目には、ごみ減量やリサイクル率については、先進自治体などと比べてどうなのか、比較検討などのそういう表示が必要ではないでしょうか。そもそも一人当たり排出量や、全国平均、国の方針との比較など基礎的な数字実態が十分に住民に知らされていないのではないかと、今日も資料を頂きましたけれども住民レベルでいうと、これが非常に不十分ではないのか、というふうに感じざるをえません。現状と今後の対策についてお聞きをいたします。

2つ目に、溶融スラグの管理についてでございます。先ほど言いましたように、現場見学をさせていただきましたけれども、清掃工場の隣地にこのスラグが野積み状態になっておまして私も驚きました。無害化されているとの答弁も従来されておりますけれども、この有害無害についても溶融スラグについては諸説あるところであります。有害無害は別にしましても、少なくともこの溶融スラグは商品として扱われている訳でありますから、発成年次の表示等はもちろん、この美観の問題も含めて早急な改善を図るべきだというふうに、一回限りですけれども見させていただいた時に、そのように感じましたので、ぜひ改善策についてはご検討をいただきたい、このように思います。この点でお尋ねしたいと思っております。

3点目でございますけれども、発熱量の確保をあげております。RPF原材料などの使用を、この間連合

長は事業系ごみの有効活用というふうにご答弁されて広域連合としての認識を述べられておりますけれども、これも見学させていただきましたが、いわゆるガス化溶融炉のところ、プラスチック類を混焼すると、混合で燃焼させているというような実態にあります。

私、これはやはり3Rの推進等との関係についてお尋ね申したいと思うんですが、今回の平成28年度予算での、ごみ発熱量改善関係予算を見ましたけれども、改善資材購入費で1,158万9千円、業務関連費でこれも発熱改善の関係になると思うんですが、この関連費が241万4千円で、計が1,400万3千円ということになっております。昨年11月の定例会で、工藤正志議員の質問に連合長は資材としては、RPF原材料、車輻系プラ及びタイヤチップ、光ケーブルの被覆などであり、合計1,450トンほどと答弁をされております。燃やすごみの削減へ全国的な事業系ごみ対策が今、最重要課題と言われております。ごみ減量の課題を遂行するにあたっては、これが全国の大中都市規模でありますけれども、その多くで一般廃棄物の燃やすごみの約4割を事業系ごみが占めるというふうにされております。このことが減量対策が最重要課題となっているという理由の背景にもあげられております。事業系ごみというのは、これは事業所が特定の対象になっている訳ですから、家庭ごみよりもずっと分別資源化されやすいという特徴があります。そこでお聞きをいたしますけれども、構成自治体と広域連合の構成自治体としては、事業系ごみについても減量化を取組まれているのではないかと思います。しかし、広域連合としては、事業系のごみを発熱改善資材として使用している状況にあるわけでありまして。この状況は構成自治体のところでの、ごみ減量化の取組みと矛盾するのではないかと、いうふうには私は考えるのでありますけれども、見解を聞きたいと思っております。

私も地域で、住んでいる所で、一住民としてごみを排出している訳でありますけれども、住民の皆さんからは、私たちが分別して出しても会社のプラは燃やしているんだね、とそういうような声もある訳です。住民自治の点からもこれは大きな課題だというふうに考えるところですが、連合長の考えを聞きたいと思っております。この点について2つ目でありましてけれども、RPF原材料など、プラスチックの混焼によって発熱量の改善が図られているということでありますけれども、一方、このプラスチックの燃焼による、炉への負荷が増大しているのではないかと、ということが私は懸念をしております。今日も新たに資料をいただきましたけれども、この点での検証はされているのでしょうか。何よりも広域処理云々のことはありますけれども、安全確保の点が非常に大事だというふうに思いますので、この点で実態についてご答弁を求めたいと思っております。

3つ目ですが、プラスチックの燃焼については、大気中の二酸化炭素濃度を上昇させるということがこれは報告をされているところであります。当然一番、家庭ごみの統計などを見ても、二酸化炭素の含有量というのは、紙が一番多い訳でありますけれども、これに次いで多いのが、プラスチックであるということも報告をされております。使用する発生量が多いとの報告であります。地球温暖化を加速させるとの報告もある訳であります。プラスチックの影響度を測る方法や評価には諸説ありますけれども、この燃焼によるCO₂の排出状況は把握されているのでしょうか。使用については、プラスチック焼却については再考すべきと考えております。

また、構成自治体で、それぞれCO₂削減目標を掲げているところかと思えますけれども、この関係、広域のところでのプラスチック燃焼についてとの関係については、どのように整理をすればよろしいのか、お聞きをしたいと思えます。

4点目でありますけれども、啓発活動の推進が掲げられております。質問1点目の3Rの推進、同じく2点目の環境負荷の低減等が含まれる事と思えますが、この点についても私はごみの排出等々と同じように、住民参加、住民と自治体との協力が大事だと思えます。住民の側にとっても、自分達の出しているごみの実態について、正確な知識を持つことが出発点になると思えます。そこでお尋ねをいたします。一つ目は、今日いただきました資料にありましたけれども、ごみの組成分析の実施状況はどのようになっているのでしょうか。また、実施している自治体等ではどのように活用をされているのかお聞きをしたいと思えます。

2つ目は、更なるごみの資源化、3Rの推進等に向けて、広域連合のところで考えている可能性及び住民の取組みが必要なのか、どういう取組みが必要なのか、明らかにしていくことが大事であります。ごみ減量先進地域の例を見ると、手元分別の徹底などが減量に効果を上げているところでありますけれども、連合長の見解をお聞きをいたします。一部だぶっている部分もありましたけれども、以上4点として私の一回目の質問といたします。

○議長月田光明君 理事者の答弁を求めます。

連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 釧路町の佐藤昭平議員の一般質問にお答えをいたします。

まず、ごみ処理基本計画に向けての3Rの推進と広域連合の取組みについてでございます。ご質問のとおり、循環型社会の形成には3Rの取組みが極めて重要であり、構成市町村によりそれぞれの計画に基づいた取組みが行なわれていることは、ご案内のとおりでございます。

また、当清掃工場は、ダイオキシン類対策など、高

度な環境保全対策の必要性などの課題が顕在化するなか、自治体の単独の取組みでは適正なごみ処理が困難な状況となってきたことを受けて、設置された施設でございまして、構成市町村が協同で焼却処理に取組むことにより、地域社会全体でごみの適正処理と環境負荷の低減を図り、循環型社会の形成に努めているものでございます。

次に環境負荷の低減にかかる現状把握と具体策、及びスラグの管理ということでございます。当清掃工場では、ダイオキシン類の発生抑制や無害化、そして焼却副生成物の資源化、といった取組みはもちろんのこと、廃棄物発電により、施設内の消費電力を賄うとともに、余剰電力の売却により、温室効果ガスの削減にも寄与するなど、環境負荷の低減に努めているところであります。

スラグについては、毎月サンプルを採取いたしまして、重金属類の含有量や溶出量の分析を行なっており、土壤汚染に係る環境基準と同等のJIS基準値を大幅に下回っていることを確認した上で、釧路市の旧最終処分場敷地に年度別に集積して管理をしているところでございます。そこで、ダイオキシンというものも含めた各種の数字、他の施設との比較ということのご質問でした。

私どもとしては、この法定値をクリアするかしらないかということが、課題でございます。ここは全てクリアしているものでございますので、他との比較というものは行っていないところでございます。

続いて、発熱量等の確保のための、助燃材についてのご質問でございました。当連合が発熱量改善資材として利用しているのは、ご質問にもあった事業などから排出される廃プラスチック類でございます。これは、一般廃棄物ではございません。RPF原材料の使用につきましては、これまで未利用資源とされていた事業系廃プラスチック類のサーマルリサイクルとしての活用を図るものでございまして、ごみ質に合わせて、一定の割合で混焼することで、ごみ発熱量の改善と変動費の増加抑制に一定の効果を生み出し、構成市町村の負担軽減に寄与しているところでございます。そして、そのなかで炉への負荷のことについてのご質問がございましたが、適正な温度でこの炉が稼動することによって、これが一番負荷のかからない使用と思っておりますので、そういった意味では、これは負荷ということについてはなく、問題は適正な温度の中でどのように稼動しているか、ということが重要なことだとこのように考えております。

そして、プラスチックのCO₂の排出量についてのご質問もございました。

これは、このプラスチックは助燃材として、使用しているものでございまして、ごみ焼却のCO₂は助燃材としての活用ということでございますので、その排出量

等々を把握することは必要ない、とこのように考えております。

次に、啓発活動についてのご質問でございます。

まず、当清掃工場ではホームページなどを通じて、施設の運営や維持管理に関する情報を公開するなど、事業への住民理解の促進に努めるとともに、工場内に設置しております、啓発展示施設を活用しまして、小学生の社会見学や町内会、企業などの研修会など多くの住民に環境学習の機会を提供しております。地域の環境施策の一翼を担う施設としての役割を果たしているところでございます。今後もこうした活動を通じ更なる事業の透明性の確保に努めるとともに、ごみの排出抑制や分別の徹底、あるいは地域の環境保全の重要性などにつきまして、広く啓発を図ってまいりたいと、このように考えております。そしてまた、その数値のなかで組成分析についてのご質問もございました。これは、毎月一回、指定の法律に基づいて行なっているものでございます。そしてまた、3Rの取組みについて、各自治体の取組みをとということですが、それはそれぞれの自治体の方で行なっていることですので、私どもの広域連合の方としてそこを一元的に把握しているような状況にないということでございます。

私のほうからは以上でございます。

○議長月田光明君 以上をもって質疑並びに一般質問を終結いたします。

議案第1号討論省略

○議長月田光明君 この際お諮りいたします。
本案に対する討論を省略し、直ちに採決に入ること
に、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長月田光明君 ご異議なしと認めます。
よって直ちに採決を行います。

議案第1号表決（可決）

○議長月田光明君 議案第1号、平成28年度釧路
広域連合一般会計予算を採決いたします。

本案を原案可決と決することに賛成の議員の起立を
求めます。

〔起立多数〕

○議長月田光明君 起立多数と認めます。
よって本案は原案可決と決しました。

閉会宣告

○議長月田光明君 以上をもって、今議会の日程
は、すべて終了いたしました。

平成28年第1回釧路広域連合議会2月定例会は、こ
れをもって閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時36分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

釧路広域連合議会 議長 月田 光明

同 議員 佐々木 洋平

同 議員 鶴間 秀典

平成28年第1回釧路広域連合議会2月定例会議決結果表

会期自 平成28年2月18日

至 平成28年2月18日

(1日間)

釧路広域連合議会議長 月田光明

議案番号	件名	提出者	議決年月日	議決結果
議案第1号	平成28年度釧路広域連合一般会計予算	連合長	28. 2 . 18	原案可決

議会に報告されたもの

報告番号	件名	提出者	報告年月日	報告結果
釧路広域連合監査報告第1号	釧路広域連合監査報告書	監査委員	28. 2 . 18	報告完了
釧路広域連合監査報告第2号	例月現金出納検査報告書	〃	〃	〃

平成28年第1回釧路広域連合議会2月定例会 質疑・一般質問発言項目一覧表

順位	月日	議席番号・発言議員	通 告 内 容
1	2 /18 (木)	13番 工 藤 正 志 (釧路市)	1 生ごみ水切り器の住民への無料配布
2	2 /18 (木)	8番 佐 藤 昭 平 (釧路町)	<p>1 ごみ処理基本計画の基本方針</p> <p>(1) 3Rの推進をあげているが、焼却処理をしている釧路広域連合としての取り組みは</p> <p>(2) 環境負荷の低減をあげているが、現状把握、具体策及びスラグの管理について</p> <p>(3) 発熱量等の確保をあげている。R P F 原材料などの使用を事業系ごみの有効活動と認識されているが、実態はプラスチック類の混焼であり、3Rの推進等との関係は</p> <p>(4) 啓発活動の推進について、①②等があると思うが、現在の取り組みと推進策は</p>

釧路広域連合議会議員会議員表

平成28年2月

3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		15		16		17					
小川義雄		山田博		立石巧		中村仁志		佐々木洋平		佐藤昭平		伊東尚悟		戸田悟		河初恵		森豊		岡田遼		宮田団		田光明					
弟子屈町				白糠町				釧路町				釧路市																	
				1		2																				13		14	
				東隆		佐藤吉人														工藤正志		鶴秀典						問典	

					壇																		
		事務管理者		広域連合							副広域連合長 (大石正行)		副広域連合長 (鶴居村長)		副広域連合長 (白糠町長)		副広域連合長 (弟子屈町長)						
											(名塚 昭) (報名大也)		(佐藤廣高) (大石正行) (棚野孝夫) (徳永哲雄)										
											議		事務局長										

平成28年第1回2月定例会議事経過

会期	年月日	曜	区分	内 容
1	28. 2 . 18	木	本 会 議	開会 14：00～14：36 会期の決定 広域連合長の発言 提案説明 質疑・一般質問 表決 閉会

釧路広域連合議会会議録
平成28年第1回2月定例会

平成28年3月発行

編集・発行 釧路広域連合議会事務局

〒085-0807 北海道釧路市高山30-1
電話(0154)92-2002

印刷 株式会社 藤プリント
電話(0154)22-9311